

一町の人口一

	11月1日現在	前月比
男	13,884	+9
女	14,196	+19
計	28,080	+28
世帯数	6,034	+9



安いわね! これもちょうだい

好評です不要品交換会

町で初めての不要品交換会が、青年団の手によって開かれました。

交換会は、去る11月2日・3日に開催された「第2回青年のつどい」の催しの一つとして開かれたものです。

青年団員や各種団体に呼びかけ、集めた品物はトックリから背広まで366点、売上げは約12万円、衣類の一部などを残して大部分が売り切れてしまいました。

関連記事4ページ「青年のつどい」。

慎重に選んで投票しましょう

12月16日は町議会議員の投票日

任期満了に伴う町議会議員選挙が、十二月十六日に行われます。この選挙は、私たちの生活に非常に密着した最も大切な選挙です。十二月十六日の投票日には、安心して町政を託すことのできる人を慎重に選んで投票しましょう。

午前七時から午後六時まで
不在者投票のできる人

選挙人名簿に登録されている人で次の事由に該当する人

○選挙人がやむを得ない用務、または事故のため町外に旅行中か滞在中のとき

○選挙人が病気などのため不在者投票の指定された施設に入っているとき

なお、重度の身障者は郵便による在宅投票ができます。身障者または戦傷者の方は、早目に町選挙管理委員会にお問い合わせください。

午後五時まで
不在者投票に持参する物

入場券と印鑑

不在者投票所

役場内選挙管理委員会。なお不在者投票に指定されている病院などに入院している場合はその場所で行えます。

開票時間と場所

十二月十六日午後七時三〇分から役場で行います。

選挙人名簿の閲覧期間

十二月九日から十日まで

立候補届の受付期間

十二月九日から十日まで

不在者投票の期間
十二月九日から十五日までの毎日午前八時三〇分から

菊地四郎顕彰基金

ことしは七名に表彰状が

めぐまれない人の母、原田さんも

善行で表彰をうける

十一月三日の、「文化の日」、町では「菊地四郎顕彰基金」の顕彰式が国民宿舎「つくばね」で行われ、よい勤労青少年一名とよい母四名、善

行のあった二名の方々に表彰状と記念品が送られました。

顕彰式はことしで七回目をむかえますが、今回までに四六名の方々が顕彰および表彰を受けています。

顕彰式には、町長のほか菊地四郎さん、顕彰審査員が出席、

◆表彰者◆

○岡本ふよさん(八二歳)

大字瓦谷一六四九 農業

はこう思う

選挙をひかえて

違反をもつときびしく

○飯塚恒男(小幡・三一歳)

選挙に金がかかりすぎるといふのは、立候補する人と選ぶ側の両方に責任がある。もつと罰則を強化し、運動員が違反したら候補者も無効にするとか、きびしく取り締まらないとなかなか直らないのではないでしょう



か、一人一人の良識を持つということは、今の段階では大変むずかしいことだと思います。このままでは、いくら優れた人がいても、お金の

ある人しか選挙に出られません。こういうことは早く直さなければいけないと思います。

十二月の選挙には、新しい選挙法を守り、明るく正しい選挙運動をやってほしいですね。

裏のない選挙を

○前沢和江(大塚・二一歳)

私が選挙で常日頃思うことは「裏のない選挙」つまり前向き

とです。悪く言えば「汚い手」で選挙が行われているように思



私は、こんな選挙には参加を拒みたくなる気持です。

どんな立場でも清らかな選挙をしたいですね。議員に望むことは数多くありますが、あくまで町民の為の議員であってほしいと思います。(幼稚園勤務)

絶えず町民と対話を

○比企たま(小嶋・四五歳)

選挙といいますが、立候補者誰しも立派な公約をしますが、その公約事項を必ず実行に移してくれる議員さんは、果してどの位いるでしょうか。とかく議員になってしまうと、公約を忘れ議員風ばかり吹かせている方もあるように見



受けられますが、町民無視もはなはだしいことだと思います。

議員は町民の希望を町政に反映させ、また町政の現状を町民に理解させるために、絶えず町民との対話の機会を持って、議員としての使命を十分に尽くして貰いたいものだと思います。

誠実で実行の人を

○三輪秀男(上曾・六六歳)

(主婦)



前列左から、飯塚とよ子さん、保科まき子さん、白田喜久子さん、菊地四郎さん、町長、原田はまさん、岡本ふよさん、谷口幸男さん、高野なつさん、後列は事務局と審査員の方々です。

息子の嫁と孫三人の五人家族
息子の死後高齢ながら嫁とい
つしよに農業に従事、戦時中か
ら婦人会役員を引き受け共同炊
事に出るなど、普段の行いは部
落民の模範である。

母と娘の三人家族
夫の死後母と幼い娘を養育、
田畑二ヘクタールと栗畑一ヘク
タールを耕作し、農閑期にはほ
かへ働きに出るなど、また部落
や学校の奉仕作業にも率先して
出席するなど、普段の行いは他
の模範である。

○白田喜久子さん(四三歳)
大字下林二二三〇の三 農
業 母と娘三人の四人家族
夫の死後田畑二・一ヘクタ
ールを耕作、両親の面倒見もよ
く幼い子供三人を養育、一家
の柱としてその姿は他の模範
である。

○保科まき子さん(三八歳)
大字中戸八六八 農業 祖
父母と子二人の五人家族
夫の死後田畑九五アールを
耕作、農閑期にはほかへ働き
に出るなど、近所づきあいも
良く家庭も円満でその行いは
他の模範である。

○矢口幸男さん(二八歳)
大字根小屋三七七 農業
祖父・母・弟・妹の五人家族
高校生の時に父と死別、卒業
と同時に母と農業に従事、その
かなわら青年団活動に活躍する。

○原田はまさん(七一歳)
大字半田一一八五 商業
夫と同居人二人
戦後からめくまれない人た
ちをあずかり、親がわりとな
っていままで四人の人たちを
自立させる。

○高野なつさん(六七歳)
大字小見六二九の二 無職
一人住まい
部落内の薬師堂境内の清
掃を、五年間も奉仕し続けて
いる。

選挙について、まず思うこと
は、金のかからない選挙に、し
なければいけないということだ
す。

一、候補者、選挙民共に自覚と
強い意志によって、明るい正
しい選挙をしてもらいたい。

二、違反者に対する罰則と取締
りは徹底的に厳
正にしてほしい。
また議員につ
いて思うことは
まず第一に、身
心共に健康な人であること。第
二に、自己の職責を自覚し誠実
な人であること。第三に、特に
物心共に私利私欲に走らない人
であること。第四に、常に公の
為を考へ実行の人であること。



人柄を良く知って
○飯塚揚子(下林・四一歳)
町議選では立合演説会や選挙
公報の発行ができないそうです
が、それでは候補者の意見が聞
けないまま、投票することにな
ってしまいそうです。何か方法
はないものでしょうか。

最近の選挙は大変お金がかか
るそうですが、
まず私たちが有権
者が自覚して、
候補者の人柄を
良く知り、投票
することが大事だと思います。
私は、どのような小さな事でも



誰れでも立てる選挙に
○久家喜八郎(下林・五八歳)
数年前から明正選挙の推進が
行われていますが、今日に至つ
てなかなかこれが行われていま
せん。このままで八郷町の本当
の明るい町づくりができるのな
らよいのですが、金力によって
立候補、当選するという今の姿
ではうまくゆかないのではない
でしょうか。(略)議員の報酬
はボーナスを合せると四年間に
五〇〇万もの金額になる、そん
なところに金のかかる選挙の一
つの理由があるのではないでし
ょうか。(略)議員は町を左右
する重大な職務だということは
わかりませんが、また報酬は目的
じゃないとい
ますが、結果的
にそういうふる
まいが行われて
いるということ
は、そこに一つの理由があるから
だと思えます。私たちは、もつと
質素に、誰れでも立てるような選
挙に直さなければならぬと思
います。(略)私は、有権者の一人
一人が良く認識し、あとでとりか
えしのつかないよう、この人では
なければと思う人を選んでほしい
と思えます。(農業)



気軽に相談に乗ってくださる方
また農業の発展なども考えてく
ださる方を選び、町の政治をお願
いしたいと思います。(主婦)

不要品交換会など

催しも多催に



は、真にせまる演
技で観客の涙と笑
いをさそう一幕も
あり、拍手かっさ
いを浴びていまし
た。

なお、今回青年
団によって初めて
開催された「不要
品交換会」も大変好評で、三六
品交換会」も大変好評で、三六
品交換会」も大変好評で、三六
品交換会」も大変好評で、三六

現代のめまぐるしく変化する時世にややも
すると見失いがちな青年らしさの原点である
情熱と行動そして、一人一人の小々な力でも
和をもつてすれば、すばらしい力に成り得る
事を再確認するために「情熱」「行動」「和」
をテーマにして

「第2回青年のつどい」が、
去る十一月二日・三日の両日に
わたって、小幡の自然休養村セ

ンターで開催されました。
これは、青年団、農業後
継者連絡協議会、4Hクラ
ブ連合会、スキーク
ラブ、農協青年部な
ど、町内に住む青年
たちのグループによ
って開かれたもので
す。

セリも開かれハンカチやベットが競売に



一部をのぞいて大部分が売り切
れました。

不要品交換会は、町で初めて
の企画です。集まった人たちに
一言づつ感想を聞いてみました。

○……いらない物は各家庭でも
たくさんあると思う。回数を
増してもっとやってほしいで
すね。
(下林・市村茂雄)

○……滲透すれば出す人も買い
にくる人ももっと増えると思
います。今日は場所が悪かつ
たですね。(柿岡・広瀬つね)

食生活面など かしこい消費者にと 生活教室に75名が聞き入る

店にはたくさんの商品が並ん
でいますが、その中から消費者
が品質とか、安全な商品を選ぶ
ことは大変なことです。

そこで、消費者が豊富な知識
を吸収し、かしこい消費者にな
ってもらうと、十月二十九日
八郷公民館において婦人学級生
食生活改善推進員の人たち七五
名が出席して、生活教室が開か
れました。

講師には、県の消費生活セン
ターからコンサルタントの石川
先生を招き、午前一〇時か
ら開会しましたが、受講生
の学級生や推進員の人たち
もノートやエンピツ持参で
熱心そのもの。

「安全なる食生活」と題
しての話は、まず消費者
を保護する法律のあること、
消費者もつねに関心と注意
をもってほしいことなどを
話されました。

食品については、缶詰の
見方、選び方からはいり、
ハム、ソーセージ、飲食品、
食品添加物など、一つ一つ
くわしい話しをしてくれま
した。とくに添加物は、現

石川先生の話に聞ける受講生たち



在三〇〇余種にも及び、普通私
たちは少なくとも七〇種類ほど
の添加物を毎日食べているとい
うことで、この話には受講生も
大変驚いていました。

質問もたくさん出て、二時間
の時間では足りないほどで、受
講生たちも大変勉強になったと
いっていました。

なお、町では消費者の立場を
守り、利益をはかるための窓口
を広報課に置いています。



バザーもお昼にはカップヌードルやおでんが大人気

今回は、ウォーク
ラリーや意見発表、
のど自慢、演劇、コ
ンサート、不要品交換会
生花展、お茶会、バザー
など、だいたい多催な催し
物が組まれ、会場は若者
の祭典にふさわしく、熱
い熱気でいっぱいでした。
柿岡青年団によって行
われた演劇「清水次郎長」
石松やみ討ちのくだりで

60メートルハードルに大会新

小学校の陸上運動記録会

町内十二小学校による第十回陸上運動記録会が、去る十月二十日、柿岡中学校グラウンドで開かれました。

記録会には、十二の小学校の五、六年生が参加、各学校の学年別代表によって、九種目に記録が争われました。

なお、六十メートルハードル六年男子の部で、東成井小学校の鶴井一昭君と林小学校の鈴木光男君が、昨年までの一〇秒七の記録を更新、大会新を記録しました。



写真は、千メートル決勝のスタート風景。みんな緊張の瞬間です。

記録会の一、二位入賞者は次のとおりです。

〔五年男子〕

- ▽百メートル 一位 安田昭一 (恋瀬) 二位中島忠 (吉生) ▽二百メートル 一位鈴木克昌 (大増) 二位関幸利 (小桜) ▽六十メートルハードル 一位塚田和正 (恋瀬) 二位広瀬光男 (瓦会)
- ▽四百メートルリレー 一位恋瀬小 二位芦穂小 ⅴ八百メートル 一位関幸利 (小桜) 二位鈴木美德 (芦穂) ⅴ走巾跳 一位安田昭一 (恋瀬) 二位鈴木克昌 (大増) ⅴ走高跳 一位仲村伸治 (朝日) 二位鈴木康修 (瓦会)

〔五年女子〕

- ▽五十メートル 一位糸賀恵子 (小幡) 二位奥村里子 (東成井) ⅴ百メートル 一位 桜井紀子 (小幡) 二位成田真由美 (東成井) ⅴ六十メートルハードル 一位奥村里子 (東成井) 二位渡辺美千子 (柿岡) ⅴ四百メートルリレー 一位小幡小 二位東成井小 ⅴ走巾跳 一位岩井波津江 (林) 二位糸賀恵子 (小幡) ⅴ走高跳 一位飯島悦子 (小幡) 二位岡本裕美子 (恋瀬)

〔六年男子〕

- ▽百メートル 一位 菅谷誠一 (小幡) 二位井坂裕一 (東成井)

- ▽二百メートル 一位井坂裕一 (東成井) 二位飯島栄一郎 (小幡) ⅴ六十メートルハードル 一位鶴井一昭 (大会新) 〇秒五 (東成井) 二位鈴木光男 (大会新一〇秒六・林) ⅴ四百メートルリレー 一位東成井小 二位柿岡小 ⅴ千メートル 一位飯島栄一郎 (小幡) 二位永井俊彦 (園部) ⅴ走巾跳 一位 荻部和則 (柿岡) 二位酒井昭二 (朝日) ⅴ走高跳 一位山田進 (小幡) 二位松本修一 (林)

〔六年女子〕

- ▽五十メートル 一位赤羽根三和子 (小桜) 二位関富美子 (小幡) ⅴ百メートル 一位赤羽根三和子 (小桜) 二位関富美子 (小幡) ⅴ六十メートルハードル 一位川下道代 (小桜) 二位成田美智子 (東成井) ⅴ四百メートルリレー 一位柿岡小 二位小幡小 ⅴ走巾跳 一位関口美佐緒 (林) 二位飛田礼子 (恋瀬) ⅴ走高跳 一位鳥かすみ (柿岡) 二位酒井恵子 (瓦会)



みんなの健康

やけど

寒さがきびしくなるとストーブや湯タンポ、熱湯によるやけどが増えてきます。

やけどの年令別頻度を統計的にみると、二・五歳が圧倒的に多く全体の四五・四%を示しています。

やけどは、初期の手当によって余病防止や回復にも大きな影響を与えますので、家庭における応急処置を知ることが大切です。

■事故発生時の処置

落ち着いて直ちにやけどを軽度にかつ最小範囲にいとめる機転が必要です。あわてて汚い手でさわったり、傷についた衣類を無理にはがしたりしないことです。

- 熱湯や汁がかかったら衣類のままでも直ちに冷水をかけて冷す。
- 衣類が燃えた時は横に倒して毛布をかぶせ、火を消して水をかける。
- 天ぶら油のかかった時は冷水でぬらしたタオルなどで十分に冷す。

○硫酸、塩酸、アルカリなどの劇薬のかかった場合は、水道水で十分に洗い流して、アルカリの時は酢を、酸の時は重そう水で中和する。

■やけどの程度

第一度：赤くはれ激しく痛みますが、数時間、数日後に痛み

もとれ、うすい傷あとを残して治る。

第二度：赤くはれるほかに水泡ができ、激しい痛みもあり細菌の感染がなければ一週間前後で治る (水泡は細菌感染しやすく感染すると治りにくい)

第三度：炭火・炎では黒色、熱湯では灰白色になり、傷は硬く感覚もなく痛みません。よくなっても「ひきつれ」を残します。

■やけどの広さ

やけどの広さは全身に与える影響と余病防止や回復に重大な関係があり、成人ではやけどの部分で全体面積の四%以上になると死亡することが多く、幼児では三%以上侵されると危険です。ことに四歳以下では、両手また片足だけでも全身に強い影響を与えます。

顔色が蒼白く全身が冷たくなり、冷汗をかくたりあくびをしたりする。シヨックの症状もやけどの広さが成人で一五%、小児で一〇%以上になると起り、シヨックの手当がおけると危険です。たとえ、一時危機を脱しても肝臓、腎臓、心臓と重要な臓器に障害を残して死につながります。

やけどの適切な家庭療法は冷水で冷し、よほどの小範囲のものでないかぎりすぐ正しい治療を受けることが大切です。



芦穂保育所で
第一回運動会開く

このほど、芦穂保育所で第一回運動会が開かれました。いま芦穂保育所には、二才から六才の園児三七名がおります。



ママさんバレー郡代表決定戦
柿岡さくらチームが優勝



消防操法競大会
第2分団と第3分団が郡大会に

消防ポンプ操法競技大会が、去る11月2日、八郷公民館で開かれました。

競技は、小型ポンプ(可搬)の部と自動車ポンプの部に分けて行われ、各分団選抜で計16チームが出場、操作技能を争いました。

競技の結果は、小型ポンプの部で第3分団(芦穂)が優勝、2位に第1分団(柿岡)、3位に第5分団(瓦谷)が入りました。自動車ポンプの部では、小幡の第2分団が優勝、2位に第1分団(柿岡)、3位に第7分団(林)が入りました。

明るい窓

前島のおばあちゃんたちが

月2回、12年間も奉仕活動

前島の鹿島神社の清掃を毎月二回十二年間にわたって続けている人たちがいる。

この人たちは、前島老人クラブ(高木秀男さん他六人)の人たちで、自分たちの健康管理も兼ね毎月一日、十五日の月二回バケツやカマを持ち寄って、境内の清掃をしているということです。

前島老人クラブの人たちは、十二年前に小学生のあとを引き継いだということで、道路の清掃などもしたりして、部落の人たちから大変喜ばれています。

高木さんたちは、朝早く清掃をしたあと、みんなで飲むお茶がまた楽しい」と語っていました。

写真は、十一月十五日鹿島神社で撮影したものです。

中と有明中の体育館を会場に、十四チームが参加して争われました。

この大会には、前年度町の代表になった林成チーム、前回優勝の柿岡さくらチームなどが出場、トーナメントでぶつかり合った結果、柿岡さくらチームが連続優勝して郡大会への出場権を獲得しました。

郡大会は、十一月三十日玉里村で開かれますが、町代表柿岡さくらチームの活躍が期待されます。

◎大会の結果 優勝柿岡さくらチーム、準優勝林成チーム、三位瓦会チーム・弓弦チーム。



愛の一円玉 募金運動



柿岡小六年
植木 鈴子

今の世の中には、不幸な人がたくさんいる。
私は、時々学校を休みたいなど思う時がある。病気で、学校へ行きたい行きたいと思っ
ていても、行けないかわい
そうなのもいるのに……
私たちは学校へ行つて、た
くさんの友だちや先生といっ
しょに勉強したり、遊んだり
して、家に帰つても幸せな生
活を送っている。
病気の人や、いろいろな事
故でおとうさん、おかあさん
のいない不幸な人々のために
やっている愛の一円玉募金運
動は、とてもいい
ことだと思う。

病气や事故にあ
つて、不幸な人が
ふえることは、と
ても悲しいことだ。
だから、みんな
で愛の一円玉募金
運動に協力しよう。

スクールゾーン

グループ紹介

●小幡いずみ会

歌の好きな人たちが集まって
コーラスグループを結成、この
グループが、九月二十一日、石
岡市民会館で開催された「全国
青年のつどい」県大会に参加し
て、県代表に選ばれました。
このコーラスグループの名は
「小幡いずみ会」、結成したの
は九年も前にさかのぼるそう
です。当時は、地元青年たちが

恩師の田上洋子先生(小幡)に
指導をお願いして、毎週一回、
田上先生の家に集まり教えても
らったということです。今や会
員も八郷全域に広がり、会員数
も二四名に増えました。

十一月八日、東京銀座の山野
ホールで開かれた青年のつどい
全国大会では、残念ながら選に
もれたようですが、十二月七日
に石岡市文化協会によって開催
される「石岡合唱祭」にも、ま
た出演するという予定です。

「歌はうれしいにつけ、悲し
いにつけ、そつと口づさむもの
です。この合唱団も九年の歳月

にはいろんなことがありまし
たが、ただ変らないのは、歌の好
きな人たちが集まってハーモニ
ーを楽しんでいるということ
です」と語り、将来は自分の子供
たちにまで受けつがれていつた
らと、家族コーラスを夢みて頑
張っています。

いずみ会からの お知らせ

いずみ会では、会員を募集し
ています。明るく楽しく歌を愛
する方ならどなたでも歓迎しま
す。あなたの入会を心からお待
ち致しております。
※練習日 毎週土曜日午後七時
から。



※連絡先 大字小幡下宿、鈴木
好文、電話三局の三六四八。

話のひろば

今夏、高浜の教え子の謝恩会
に招待された。四十年前の少年
は、市長になり、重役、部長、
駅長など皆立派になって、礼儀
正しく心から迎えてくれた。そ
の中に剣道七段が四人もいた。
忙しい勤めの中のけいこに感心
した。今、高浜には有段者が非
常に多い。学校の生徒も強いそ
うだ。
私が勤めた時の学校は、生徒
が三百名、父兄は教育に熱心で
県下に誇る校舎が新築され、体

育館も建てられた。その時飯塚
己代次校長が赴任して、新しい
教育「生徒が教師の教える前に
自分からグループで互に研究し
発表しながら学習する」自主的
学習を実践した。陸上競技大会

七段 四人

教育委員 岡崎 英 男



にも十倍もの生徒がいた大石岡
小学校をまかして、優勝した。
剣道は教室の机を廊下に出し
て、町の愛好者と夜遅くまでや
った。毎年、県や全国の剣道大
会に尋常科も高等科も出場した。

誇りをもっている。
戦後、教育の変遷と社会の混
迷にも、多くの親達はわが子の
高校、大学への進学を願う。だ
が小、中学の基礎をしっかりと
らないと、高校の勉強について

行けず中退する者もできる。卒
業して大学に入っても、大切な
修業時代に基礎がないと学習能
率は半減する。
幸いにわが八郷は、優秀かつ
教育に熱心な先生と、学校に理
解と協力を惜し
まない町の皆様
に恵まれ、学校
教育が益々発展
しつつあること
を喜びとするも
のである。最近プールや新校舎
また、それに伴うあらゆる設備
が完備され、内外共に進展の途
上にある八郷教育に万全の期待
をかける。



支給範囲が拡大され増額に

心身障害児の特別扶養手当

重度の心身障害児を対象に支給される「特別児童扶養手当」が、十月から増額になり支給範囲も拡大されました。
 いままで該当していた方は一八、〇〇〇円に、また、新たに
 痲疾の程度が中度の障害児にも月額一二、〇〇〇円が支給されます。

- ▽中度の障害とは、次のような程度の場合です。
- ▽両眼の視力の和が〇・〇八以下のもの
- ▽両耳の聴力損失が八〇デシベル以上のもの
- ▽平衡機能に著しい障害を有するもの
- ▽音声または言語機能に著しい障害を有するもの
- ▽両上肢の親指及び人さし指

十一月の納税

国民年金 第三期

12月末が納期限
 国民年金の特例納付
 このような人のために、特例納付といって失った資格をとりもどす制度が設けられました。
 特例納付の最終期限は、本年十二月いっぱいです。
 未納分のある人は必ず納め

たは中指の機能に著しい障害を有するもの
 一上肢のすべての指の機能に著しい障害を有するもの
 体幹の機能に歩くことができない程度の障害を有するもの

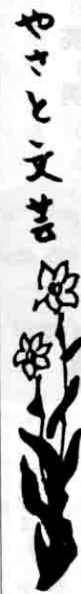
在宅の重度障害児に
 月額四千元の福祉手当が
 このほど、在宅重度障害者に新しく「福祉手当」が支給されることになりました。
 いままで身体と精神の両方に重度の障害がある人たちに、「特別福祉手当」が支給されていましたが、これが範囲拡大され福祉手当として支給されるようになったものです。

この在宅重度障害者福祉手当制度の支給対象に該当しますと該当者には月額四、〇〇〇円が支給されます。
 支給対象に該当すると思われる方は、福祉課で手続をしてください。

○支給対象
 身体または精神に重度の障害があるため、日常生活において常時介護を必要とする程度の状態にある日本人で、施設に収容されていない在宅の障害者、ただし、痲疾を支給事由とする他の制度による給付（障害年金、痲疾年金、障害補償年金など）を受けている方は除かれます。
 詳しいことは福祉課でお尋ねください。

もち米は生産過剰 作付は制限を

もち米の過剰生産によって、政府は大量に古米を保有していますので、五十一年度のもち米の作付については極力制限されるようお知らせします。
 なお、うるち米についても、名柄米を除いては過剰になっていきますので、コシヒカリなどを作付するようお勧めします。
 (経済課)



短歌

吉田次郎 選

山裾のだんだん晶霧に濡れ花蕎麦白く夕月のほる
 細谷 金沢 翠柳
 そのかみのさざめきに似て廢校の朽ちし窓にも時雨ふりおり
 大増 入江 君子
 野辺の草みな極りて伏しにつ、秋にや心うくものが欲し
 大増 青木 祥太
 幼き日遊びし川の拓かれて寂しむかしの面影もなし
 小幡 鬼沢 功

俳句

滝田玉水 選

茸狩り遠まりつつも声交す
 東山崎 荒井 岳山
 新しき湖の句碑未枯るる
 柿岡 齊藤 秋声
 柊の花は大木古屋敷
 月岡 高橋 不望
 亡き友の墓に供えし菊一輪
 小見 藤岡 忠夫

俚謡

林嶺月 選

腰の矢立に一滴二滴吟行楽しい紅葉狩
 月岡 山田 紫影
 塩の秋刀魚のぶつ切り焼いて囲む飯場の決り酒
 戸の内 白田 正源
 辛棒一筋無事結ばれて果報実つて築く家
 瓦谷 路川 長老子
 よそうよしましよ寝たばこ吸いは仇な火災の種となる
 根小屋 島田 順風